



しんかい正春

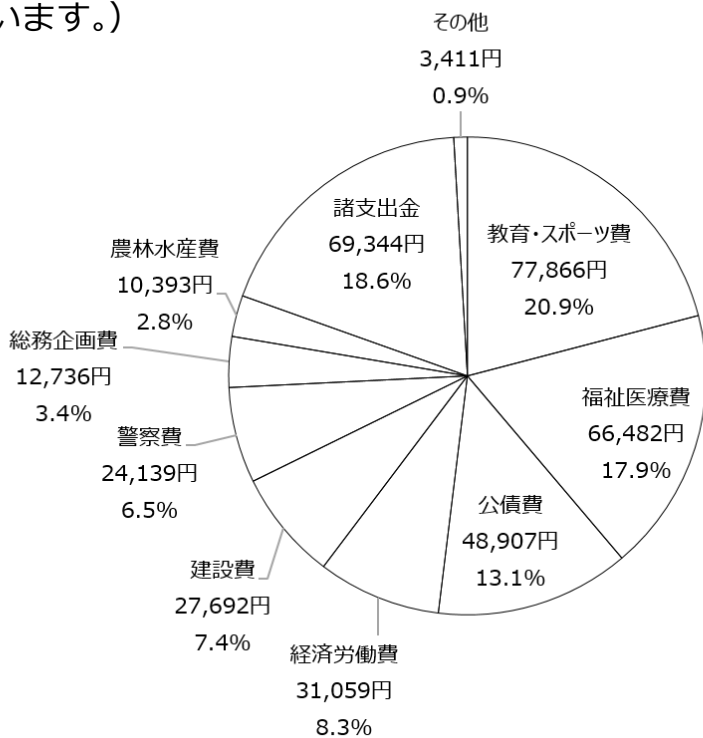
～「現地現物」そして「安全は全てに優先」～

令和6年 VOL18
発行 しんかい正春事務所
〒444-0837
岡崎市柱6丁目5-5
TEL・FAX 0564-58-0128

この度の能登半島地震により、被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、2月19日に開会した愛知県議会2月定例議会も3月11日の本会議において、新型コロナウイルス対策の体制縮小に伴い、不要となった関連費など計1638億円余りを減額する2023年度一般会計補正予算案を可決、

これにより2023年度予算は約2兆9031億円となりました。ほかに県立高校に「中高一貫」を導入することに伴う校舎建設工事の契約締結など計23議案を可決しました。3月13日からは委員会において議案審議が行われ、3月25日開催の本会議では、「2024年度愛知県一般会計予算」はじめ68議案を可決しました。2024年度の当初予算総額は2兆7,949億4,400万円で、県民一人当たりで換算すると372千円となります。これは前年度当初比で5.8%の減少で6年ぶりに減額となりました。その支出構成内訳は図「県民一人あたりの予算構成」グラフのとおりで1番多いのは教育・スポーツ費で20.9%、2番目が福祉医療費の17.9%となっています。主な予算案の目玉事業は、表「予算案のポイント」のとおりで、ステーションAiの整備・運営が108億円、少子化対策が154億円、中高一貫校など県立高校再編が106億円などです。また近年の猛暑を踏まえた熱中症対策を進めるため、2027年度までの4年間で約180億円かけ、全ての県立高校の体育館・武道場に空調設備を順次整備していきます。（特別支援学校の体育館は2023年度から3年間で空調整備を進めています。）



図「県民1人あたりの予算構成」

▼スタートアップ支援	
ステーションAiの整備・運営	108億円
海外の新興支援との連携	7.4
▼次世代産業の育成	
自動運転の社会実装	2.7
次世代バッテリー推進事業費	0.25
▼カーボンニュートラル	
水素の社会実装の推進	5.2
FCトラックなど物流脱炭素化	0.34
▼子ども・教育関連	
少子化対策	154
中高一貫校など県立高校再編	106
▼災害対策	
基幹的広域防災拠点の整備	45

表「予算案のポイント」

岡崎警察署新庁舎（R6年9月末完成予定）

県警本部施設課によると新庁舎は鉄骨5階建て、延べ床面積は7581.85㎡。

免許更新窓口は2階、市民相談窓口は1階に入る見込みです。

現在の約1.5倍となる約1万㎡の敷地内には鉄骨2階建ての車庫射撃場棟をはじめ、来庁者駐輪場、職員駐輪場、車庫棟を建設します。

一般向けの駐車場は93台分(現庁舎比53台分増)の整備を予定、総工費は土地取得費用を含めて約64億円です。10月に現庁舎から引っ越し、11月中の新庁舎での業務開始をめざしています。

○新庁舎の外観コンセプトイメージ ・今までのイメージにとらわれない新モデル



小型動力ポンプ軽積載車 4台を更新配備（R6.2）

道路交通法の一部改正に伴い「準中型自動車免許」が創設され、新たに普通自動車免許を取得した消防団員は車両総重量3.5トン以上のポンプ自動車を運転できないこととなり、将来的に消防団活動に支障が生じるおそれがあります。こうした課題に対して愛知県は、「消防団が所有する消防自動車に係る準中型免許の新設に伴う対応について（通知）」の中で、①消防自動車の更新時期に合わせた3.5トン未満車両の更新配備に対して、愛知県南海トラフ地震等対策事業費補助金を1/3から1/2に嵩上げ、または②準中型免許取得費用に対する公費助成制度の創設を県内自治体に通知しました。これを受けて岡崎市は「運転免許を持つ誰もが運転でき、市内のどこへでも出動できる車両」をコンセプトとした軽自動車タイプの小型動力ポンプ軽積載車8台の購入を決定し、令和5年度に地域消防の要である4つの消防団に先行配備しました。3月3日に岡崎城南公園で行われた南部ブロック消防訓練において岡崎消防団第5部に配備された小型動力ポンプ軽積車がお披露目されました。令和6年度も更新時期にあわせて、4台の車両配備を計画し



ています。軽自動車であり消防ポンプ自動車では進入できない狭隘道路への進入が可能となり、災害現場により近づくことができるため、早期の災害対応が可能となっています。なお、幸田町については消防団員の準中型免許取得費の一部助成制度導入で対応しています。



現場レポート

愛知県立岡崎特別支援学校の移転開校



令和6年4月1日（月）、県立岡崎特別支援学校の学習環境の改善や立地上の課題を解決するため、同校を岡崎市美合町（県立農業大学校敷地内）に移転開校します。

これまで本宿町にあった愛知県立岡崎特別支援学校は、昭和38年に県内2番目の肢体不自由支援学校として開校し60年余りが経過していました。そのため施設の老朽化が著しく、また、敷地の一部が土砂災害防止法に定める土砂災害警戒区域や特別警戒区域に指定されたことから、児童生徒の安全な学習環境を確保するため、早期移転を何度も一般質問の中で要望してきました。その結果、令和3年度に実施設計、令和4年度に移転整備費が予算化され、順調に工事が進んで待望の移転開校の日を迎えることができました。これまでの関係各位のご理解、ご協力に対して心から感謝申し上げます。

1. 学校概要

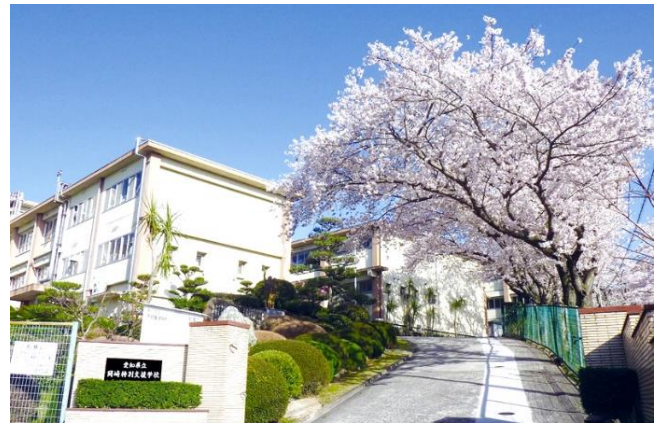
- 移転開校日 2024年4月1日（月）
- 住所 岡崎市美合町字並松1番90
- 学校規模 45学級 児童生徒数 129人
（開校時見込み、施設内・訪問含む）
- 設置部 小学部、中学部、高等部
- 敷地面積 14,496㎡
- 建物面積 8,825㎡（校舎、体育館等）

2. 通学区域

- 岡崎市、幸田町、蒲郡市※
- ※令和5年度までは豊橋特別支援学校に通学



愛知県立岡崎特別支援学校



移転前の校舎



正門からの外観



新特別支援学校正門





議員活動の記録（現地現物）



右折信号設置完了 福岡小学校南交差点



防護柵設置完了 幸田小学校西側



矢作南小学校横 横断歩道橋改修工事完了



防護柵設置完了 矢作北小学校北東交差点



翔南中学校開校 10 周年記念式典 1/30



ジブリパーク魔女の谷 開園式典 3/16

現在、取組み中の懸案事項

今後ともご要望・ご意見をお聴かせください

- 都市計画道路美合線（福岡市場線）整備
- 広田川（菱池遊水地）の河川整備
- 乙川・砂川・相見川・鹿乗川等の河川改修工事
- 植樹帯の除草、樹木剪定など街路樹管理、河川維持管理（除草、樹木伐採）
- 通学路の安全確保（「信号・ガードレール・横断歩道・歩道」の設置・整備）
- 岡崎刈谷線・JR・愛環交差部の渋滞対策の具体化方策
- 額田地区と豊川市をつなぐ生活道路整備
- 土砂崩れ対策（細川地区など）

